

子どもの権利に関する条例制定に向けた検討状況について

市では、子どもの権利条約に定められた子どもの権利の理念に基づき、子どもの尊厳と権利が尊重されるよう、行政や家庭、学校など地域における各々の役割を明確化する、子どもの権利に関する条例の制定について検討を行うため、子どもの権利に関する条例検討委員会（以下「委員会」という。）を設置し、以下のとおり検討を行っています。

（※参考：第五次子どもプラン武蔵野 事業番号 3「子どもの権利条例（仮称）の検討」）

1 委員会委員構成

	氏名	職名
1	喜多 明人	早稲田大学 名誉教授
2	澁谷 智子	成蹊大学文学部 教授
3	橋詰 穰	弁護士
4	吉安 晶子	法務省人権擁護委員 武蔵野市担当
5	阿部 陽子	武蔵野市民生児童委員協議会 主任児童委員
6	後藤 明宏	NPO法人むさしの成年後見サポートセンターこだまネット 理事長
7	澤木 宗人	武蔵野市青少年問題協議会 地区委員会
8	大上 茂雄	武蔵野市立小中学校PTA連絡協議会
9	安部 忍	武蔵野市立本宿小学校 校長
10	若槻 善隆	武蔵野市立第六中学校 校長
11	水野 麻美	公募による市民
12	村山 綾子	公募による市民
13	勝又 隆二	武蔵野市子ども家庭部長
14	樋爪 泰平	武蔵野市教育部長

2 委員任期

令和 3 年 5 月 27 日～令和 5 年 3 月 31 日

3 委員会での検討作業の進め方について（予定）

委員会委員から出された検討課題を「重点課題」、「個別課題」に分類・検討し、3 月の第 6 回委員会までに条例素案を作成する。重点課題は委員会の場で中心的に議論し、個別課題は実施済みの委員アンケートを基に素案を作成する予定。

(1) 重点課題

- ①子どもからの相談／子どもの権利擁護機関（オンブズ制度）
- ②いじめ・虐待・暴力
- ③居場所
- ④子ども参加

(2) 個別課題

実現すべき子どもの権利／家庭への支援／支援者への支援／学ぶことのできる場（不登校・学習支援）／個別の配慮を要する子ども／子どもの貧困／外国籍の子ども／子どもの権利についての啓発

(3) 検討内容について

日程	内容
令和3年5月27日（木）	第1回委員会【済】
7月20日（火）	第2回委員会（重点課題①②の検討など）【済】
9月29日（水）	第3回委員会（重点課題③の検討など）
11月9日（火）	第4回委員会（重点課題④の検討など）
令和4年1月18日（火）	第5回委員会 ※素案の検討（重点課題、個別課題の検討など）
3月9日（水）	第6回委員会 ※素案の検討（重点課題、個別課題の検討など）

※素案完成後、令和4年度にパブリックコメントを実施予定

4 その他

(1) 「子どもの権利」アンケートの実施

目 的：「子どもの権利」の周知啓発を兼ねて、認知度、自己肯定感、相談支援等に関するアンケートを実施。委員会における検討の参考とする。

対 象：市立学校の小学4～6年生及び中学1～3年生（全生徒）

期 間：令和3年8月30日～令和3年9月10日の間で、各校で任意の日程で実施

実施方法：各校で児童生徒に配付しているタブレット端末により実施（無記名）（所要時間 20 分程度）

(2) Teens ムサカツ実行委員会の実施

令和4年3月29日に、子どもの権利をテーマとした中高生世代ワークショップ「Teens ムサカツ 2022 春」を開催する予定。公募による中高生世代の実行委員 15 名がワークショップの準備を行うとともに、条例づくりと連動した取り組みを行う。

担当課 子ども家庭部子ども子育て支援課